

発表される情報と具体的な活用例

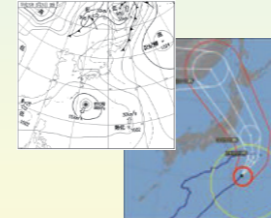
大雨の場合

気象状況

気象庁が発表する情報

大雨の
数日～
約1日前

数日後までに
警報級の現象発生
の可能性が予想され、
大雨の可能性が高くなる



警報級の 可能性

天気予報の
発表地域
ごとに発表

大雨の
半日～
数時間前

雨が降り始める

大雨注意報
市町村単位
で発表

大雨の
数時間～
2時間
程度前

雨が強さを増す



大雨となる



大雨が一層激しくなる



広い範囲で数十年に
一度の大雨

大雨警報
市町村単位
で発表

大雨
特別警報
市町村単位
で発表

気象情報
(随時)

警報の
危険度分布

注意
(注意報級)

指定河川
洪水予報

氾濫注意
情報

氾濫警戒
情報

警戒
(警報級)

氾濫危険
情報

非常に危険
命に危険が及ぶ災害が
いつ発生しても
おかしくない

氾濫発生
情報

極めて危険
命に危険が及ぶ災害が
すでに発生している
おかしくない

土砂災害警戒情報

記録的短時間大雨情報

これまでに経験した
ことのないような
大雨となり、重大な
危険が差し迫った
異常事態



平成26年8月豪雨における広島土砂災害



平成27年9月関東・東北豪雨における鬼怒川堤防決壊
提供：国土交通省関東地方整備局

気象情報を活用して 早めの避難を

～大雨などの時間帯を 一目で確認できます～

△△市 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
	4日					5日					
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨 (浸水害) (土砂災害)										浸水注意 土砂災害注意	
洪水 (洪水害)										氾濫	
暴風 (風速) (矢印・メートル)	陸上	10	15	20	20	25	25	20	15	12	以後も注意報級
	海上	10	15	25	25	30	30	25	15	15	以後も注意報級
波浪 (波高(メートル))	4.0	6.0	6.0	6.0	8.0	8.0	8.0	6.0	6.0	以後も警報級 うねり	
高潮 (潮位(メートル))	0.7	0.7	1.5	2.0	2.5	3.0	2.0	1.5		ピークは5日6時頃	
雷										竜巻、ひょう	



種別	警報級の可能性							
	4日		5日		6日	7日	8日	9日
	明け方まで	18-6	朝～夜遅く	6-24				
大雨	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	[中]
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(暴風雪)	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-
波浪	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-

このリーフレットは、以下のとおり見ていただけるようになっています

①+⑤ 情報や状況に応じた行動の説明
②+③+⑥ 情報や状況に応じた行動+新情報についての詳細
③+④+⑤ 情報や状況に応じた行動+避難行動についての詳細
②+③+④+⑤ 情報や状況に応じた行動+新情報+避難行動についての詳細

危険度の高まりが予測される時間帯を知るために

平成〇〇年10月4日16時10分 ××地方気象台発表

××県の注意警戒事項

××県では、暴風や高波に警戒してください。

△△市 **【発表】暴風、波浪警報 大雨、洪水、高潮注意報**
【継続】雷注意報

5日明け方までに大雨警報(土砂災害、浸水害)に切り替える可能性が高い。

5日明け方までに洪水警報に切り替える可能性が高い。

5日明け方までに高潮警報に切り替える可能性が高い。

発表イメージ

発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移 (■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象
	4日					5日					
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	10	10	30	30	70	70	50	30		
	(浸水害)										浸水注意
	(土砂災害)										土砂災害注意
洪水	(洪水害)										氾濫
暴風	風向 風速 (矢印・ メートル)	陸上 10	15	20	20	25	25	20	15	12	以後も注意報級
	海上	10	15	25	25	30	30	25	15	15	以後も注意報級
波浪	波高(メートル)	4.0	6.0	6.0	6.0	8.0	8.0	8.0	6.0	6.0	以後も警報級 うねり
高潮	潮位(メートル)	0.7	0.7	1.5	2.0	2.5	3.0	2.0	1.5		ピークは5日6時頃
雷											竜巻、ひょう

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
 □で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
 各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。

「警報・注意報」でいつ危険度が高まるかを確認

警報や注意報は、警報級や注意報級の現象を予想した時間帯を色分けした表で発表しています。

さらに、例えば夜間～早朝に警報発表の可能性が高い場合には、夕方うちに注意報を発表し、発表文中に「明け方までに警報に切り替える可能性が高い」などと明示します。

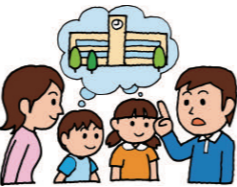


明日明け方までに洪水警報になるらしい。
 この家は流れの速い河川の川岸に建っている
 ので危険だ。
 今のうちに避難の準備をし、準備ができれば
 避難しておこう。

明日明け方には、25メートルの暴風になるらしい。
 今のうちに備えておこう。



明日朝には、3メートルの高潮になるらしい。
 ここは海のそばで標高が低くて浸水する危険がある。
 夜中は暴風にもなるようだ。
 風が強くなる前に高台の小学校へ避難しておこう。



5日先までの警報級の可能性を確認

命に危険を及ぼすような警報級の現象が5日先までに予想されているときには「警報級の可能性」を[高]、[中]の2段階で発表しています。
 翌日までの期間に警報級の可能性が[高]と発表されたときは、「警報に切り替える可能性に言及した注意報」や「予告的な府県気象情報」が発表される状況です。

警報級の可能性[中]が発表されたときは、深夜などの警報発表も想定して、心構えを一段高め、その後発表される気象警報や注意報などを確認してください。

明日までに警報級の大雨となる可能性があるみたいだ。
 深夜であっても何かあったらすぐ行動できるように
 心構えをしておこう。



平成〇〇年10月4日17時00分 ××地方気象台発表

××県の警報級の可能性

南部では、5日までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性							
	4日		5日		6日	7日	8日	9日
	明け方まで 18-6	朝～夜遅く 6-24						
大雨	[高]	[高]	-	-	-	-	-	[中]
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(暴風雪)	[高]	[高]	-	-	-	-	-	-
波浪	[高]	[高]	-	-	-	-	-	-

[高]: 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。

[中]: [高]ほど可能性が高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

気象庁が発表する情報

警報級の可能性

天気予報の発表地域ごとに発表

気象情報(随時)

大雨注意報

市町村単位で発表

大雨警報

市町村単位で発表

土砂災害警戒情報

記録的短時間大雨情報

指定河川洪水予報

氾濫注意情報

氾濫警戒情報

氾濫危険情報

氾濫発生情報

警報の危険度分布

注意(注意報級)

警戒(警報級)

非常に危険
 命に危険が及ぶ災害がいつ発生してもおかしくない

極めて危険
 命に危険が及ぶ災害がすでに発生しているもおかしくない

これまでに経験したことのないような大雨となり、重大な危険が差し迫った異常事態

危険をあらかじめ知り、早めに避難するために

住民の行動

気象情報やハザードマップを確認

- 心構えを一段高める
- 危険な区域を把握
- 近隣の安全な場所や避難経路を確認



最新の情報をこまめに確認

- 夜間に「警報に切り替える可能性が高い」と記載されている場合、土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難を開始
- 高齢者等は速やかに避難

- 土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難を開始
- 高齢者等は速やかに避難

速やかに避難

危険な区域の外の少しでも安全な場所への速やかな避難。

避難を完了

屋外への避難がすでに困難となっているおそれがあるため、この状況になる前に安全な場所への避難を完了しておく。

これより前の段階で、危険度分布で「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておく。

お住まいの地区の災害の危険性や避難先をハザードマップ等で確認

- 土砂災害や水害、高潮害について、立退き避難が必要な、命が脅かされる危険性が認められるのは以下のような場所です。

- 崖や渓流のそばなど、土砂崩れや土石流により家屋が埋まってしまう場所
- 川からあふれた水の流れにより家屋が流失してしまう場所（谷底平野など）
- 川の付近の平屋や地下室などのように、深く浸水してしまう場所
- ゼロメートル地帯のように、浸水が長期間継続してしまう場所
- 堤防を越えた波により家屋が流失してしまう場所
- 海岸沿いの平屋や地下室などのように、深く浸水してしまう場所

お住まいの地区にどのような危険があり、土砂災害や水害、高潮害などから命を守るためにはどのような避難行動をとる必要があるのかをしっかりと認識しておくことが大切です。まずは自治体のハザードマップなどで土砂災害警戒区域や浸水想定区域や避難先等をご確認ください。

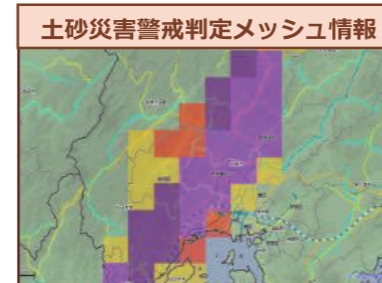


危険度分布や避難情報等を確認

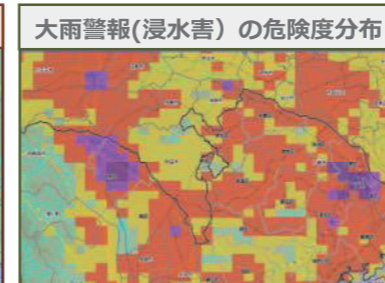
警報、注意報や気象情報で災害に対して注意警戒を呼びかけます。警報等が発表された市町村等のうち、実際に土砂災害や水害発生の危険度が高まっている場所は、危険度分布で色分けして表示します。土砂災害や水害で命が脅かされる危険性が認められる場所にお住まいの方は、危険度の高まりが予測される場合には早めの避難をお願いします。また、地元自治体が発令する避難情報に留意し、早めに避難行動をとってください。

危険度分布

災害発生の危険度の高まりを5段階に色分けして表示しています。



<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh>



<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>



<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



スマホで簡単アクセス



色が持つ意味
極めて危険
非常に危険
警戒
注意
今後の情報等に留意

高危険度
低



災害の発生する前に随時発表される情報を確認して、早めに行動し災害から身を守ってください。

屋外に出ると命に危険が及ぶ場合

避難しようとしたときに屋外に出ると、かえって命に危険が及びそうだという状況では、少しでも命が助かる可能性が高い行動として、家の中でも二階以上や崖の反対側などのより安全な場所に退避するなど、最善を尽くしてください。



気象庁から発表される情報のタイミングと、そのときにとるべき行動の例をまとめました。
特に、「突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域（土砂災害警戒区域等）や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いの区域にお住まいの方」は、いざという時に自発的に避難を開始できるよう、事前にご確認ください。

住民の行動

気象情報やハザードマップを確認

心構えを一段高める
危険な区域を把握
近隣の安全な場所や避難経路を確認



Point
備えは大丈夫？

最新の情報をこまめに確認

夜間に「警報に切り替える可能性が高い」と記載されている場合、土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、**避難準備が整い次第、避難を開始**
高齢者等は速やかに避難



Point
土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、**早め早めの行動を！**

土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、**避難準備が整い次第、避難を開始**
高齢者等は速やかに避難



速やかに避難

危険な区域の外の少しでも安全な場所への速やかな避難。



避難を完了

屋外への避難がすでに困難となっているおそれがあるため、この状況になる前に安全な場所への避難を完了しておく。

これより前の段階で、危険度分布で「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておく。



情報の説明

△△市	発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移 (■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)										備考・関連する現象
		4日			5日							
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨	1時間最大雨量(ミリ)	40	50	70	110	110	70	50	30	30		
	(浸水害)											以後も注意報級 浸水警戒
洪水	(洪水害)											以後も注意報級 氾濫
	暴風	風向										
風速(矢印・メートル)		陸上	10	15	20	50	50	30	18	15	12	
波浪	波高(メートル)	海上	10	15	20	50	50	30	20	15	15	以後も注意報級
		波高(メートル)	4.0	6.0	8.0	11.0	11.0	6.0	6.0	4.0	3.0	うねり
高潮	潮位(メートル)	0.7	0.7	1.5	4.0	4.0	3.0	2.0	1.5		ピークは5日3時頃	
雷											竜巻	

発表中の警報・注意報等の種別を表しています。右の凡例表に示した背景色により、警報や注意報などの発表状況が一目でわかります。

【各種別についての凡例】

- ：特別警報
- ：警報
- ：注意報
- ：今後特別警報に切り替える可能性が高い警報
- ：今後特別警報に切り替える可能性が高い注意報
- ：今後警報に切り替える可能性が高い注意報

明日まで3時間毎の現象の推移を示す表です。背景色(■:特別警報級、■:警報級、■:注意報級)により、警報級の現象を予想しているなどの状況を目で見る事ができます。表中の数字は、量的な予想値です。また、表中の矢印は風向を示しています。例えば、暴風5日0-3時の状況 は、南の風50メートルで特別警報級の現象を予想していることを表しています。

表で示した時間帯以降に警報級や注意報級の現象が続く可能性や、発表中の警報・注意報に関連する現象について示します。

平成〇〇年10月4日17時00分 ××地方気象台発表

××県の警報級の可能性

南部では、5日までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性								
	4日		5日			6日	7日	8日	9日
	明け方まで	18-6	朝~夜遅く	6-24					
大雨	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	[中]	
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	
暴風(暴風雪)	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-	
波浪	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-	

明日までは時間帯を区切って、明後日以降は1日単位で、大雨・大雪*・暴風(暴風雪*)・波浪について、警報を発表するような現象発生の可能性を示します。 ※寒候期のみ

【凡例】

- [高]：警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
- [中]：[高]ほど可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生のある状況。